

(1) 各地域の状況

池上

地域データ

【地域の人口等】

管轄人口：46,214 人

高齢者数：10,414 人 (22.5%)

(うち単身高齢者数：4,076 人)

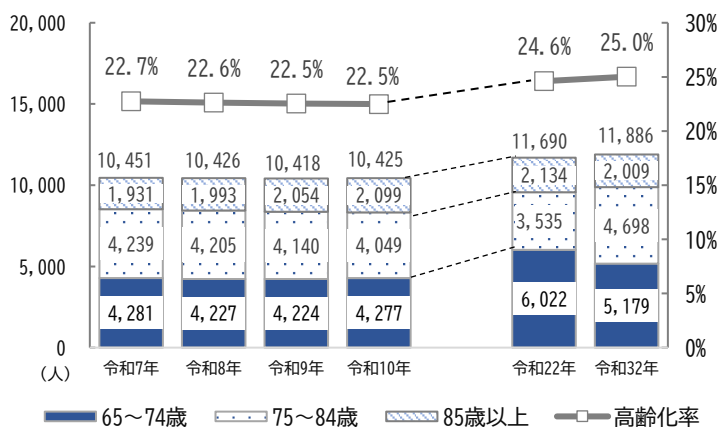
(単位：人)

	男性	女性
0～14 歳	2,492	2,313
15～64 歳	15,775	15,220
65～74 歳	2,039	2,174
75～84 歳	1,823	2,386
85 歳以上	585	1,407
単身高齢者	1,393	2,683

見守りキーホルダー登録者数：2,404 人

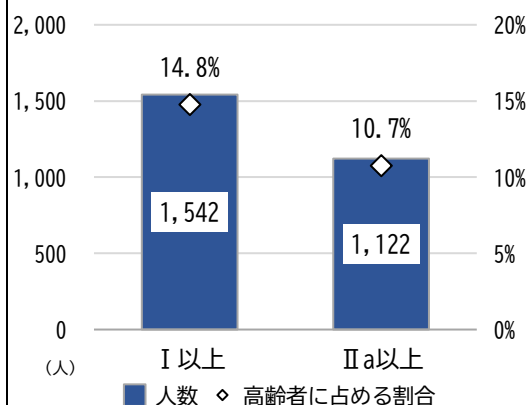
【高齢者人口の将来推計】

(各年 10 月 1 日)



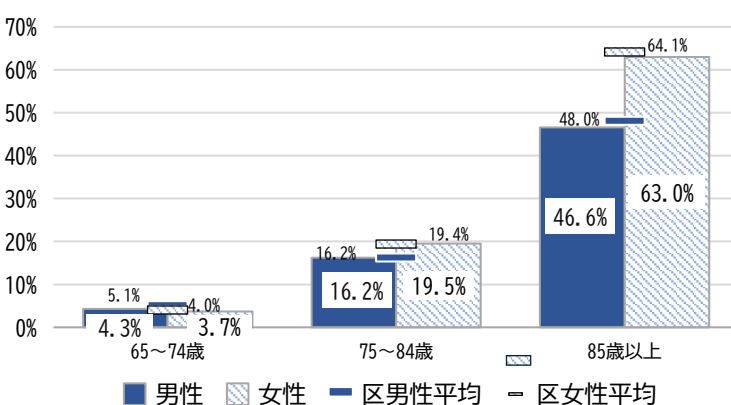
【認知症高齢者数】

(令和8年4月1日)



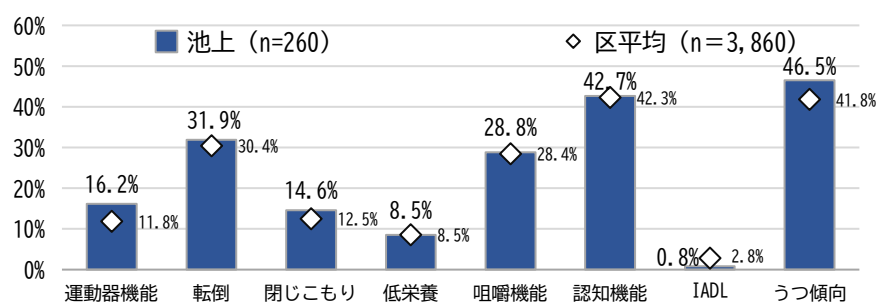
【年齢区別の要介護認定率】

(令和7年10月1日)



【各種リスク該当率】

(出典：令和7年度 大田区高齢者等実態調査 報告書)



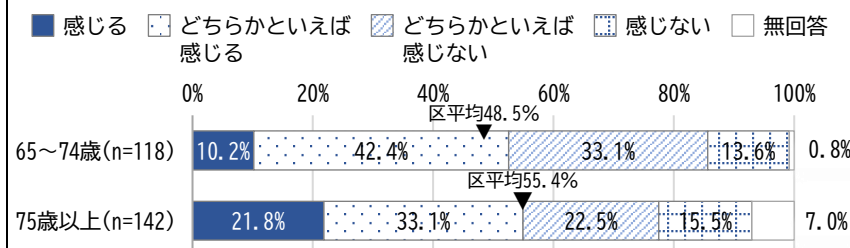
全ての指標で区平均との差が±5ポイント以内に収まっており、区の平均的な状況に近いことがうかがえます。

「うつ傾向」、「運動器機能」で区平均より高いほか「閉じこもり」でも区平均より割合が高くなっています。

一方、「IADL」については、区平均より割合が低い傾向がみられます。

【地域とのつながりの実感】

(出典：令和7年度 大田区高齢者等実態調査 報告書)



※区平均は「感じる」「どちらかといえば感じる」の合計

地域とのつながりを「感じる」「どちらかといえば感じる」の感じる割合は、前期高齢者では5割前半で区平均より高く、後期高齢者では5割半ばで区平均並みとなっています。

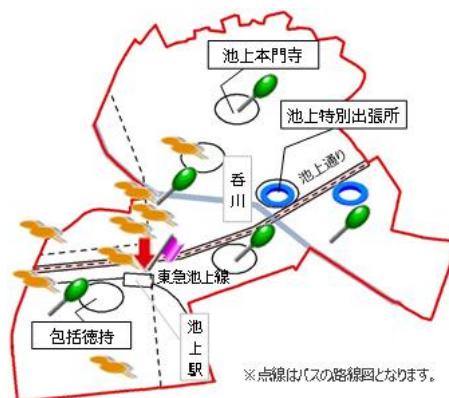
また、後期高齢者は、前期高齢者よりも感じる割合が高くなっています。

【地域の通いの場】

認知症カフェ等	2 か所
体操	6 か所
趣味活動	17 か所
茶話会・会食	1 か所
その他	1 か所

※複数の活動がある施設

池上文化センター	体操 2 か所、趣味活動 10 か所
テラッコ池上	趣味活動 1 か所、 茶話会・会食 1 か所、その他 1 か所



池上地域における日常生活圏域レベル地域ケア会議の実施状況

【地域課題のキーワードとして取り扱った件数】

地域課題のキーワード	令和6年度	令和7年度	地域課題のキーワード	令和6年度	令和7年度
フレイル予防 (運動・栄養・口腔・社会参加)	2	2	孤立防止	2	2
通いの場	1	2	支援困難		
多世代交流		1	民間事業者との連携（医療）		
防災・防犯			民間事業者との連携（介護）	2	2
認知症			民間事業者との連携（その他）		1
見守り	2	2	その他		

【会議テーマ】

	会議テーマ
令和6年度	・「コロナウイルスで希薄となった見守り活動について」 ～通いの場に参加されない方に対する（特に男性）アプローチ方法の検討～（2回開催）
令和7年度	・男性の元気をつなぐ 地域での見守りと居場所づくり（2回開催）

池上地域の課題と取組

【地域の課題】

○圏域内には坂道が多い地域が含まれており、外出機会の減少による身体機能の低下や閉じこもりにつながるリスクが高いことから、フレイル予防及び閉じこもり予防に向けた取組を継続的に推進していく必要がある。

○「各種リスク該当率」では、「うつ傾向」「運動器機能低下」の割合が区平均を上回っているほか、「閉じこもり」についても区平均より高い状況にあり、社会参加の機会の確保や継続的な見守り体制の充実が求められている。

○特に男性において、身体機能や生活状況が急激に悪化してから支援につながるケースが多く見られるため、早期からの関わりや予防的対策、孤立しやすい男性に向けた取組などを充実させていく必要性がある。

【課題への取組】

○フレイル予防及び閉じこもり予防に向けて、趣味や作業、地域での役割など、本人が興味・関心を持てることをきっかけとして、外出や人とのつながりを促進する仕組みづくりを進める。

○通いの場への参加を通じて、うつ傾向や閉じこもりの予防、運動器機能の維持・向上を図る。さらに、学識経験者の専門的な知見を参考に、見守り体制の充実につなげていく。

○特に男性を対象とした、気軽に参加できる居場所の創設を進め、継続的な参加を通じて生活状況や心身の変化を早期に把握すると共に、見守りの輪の拡大に努める。